

国民年金からのお知らせ

令和2年度申請免除の受け付けが始まります

失業や所得の減少などにより保険料の納付が経済的に難しい場合、未納のままにせず、「国民年金保険料免除・納付猶予制度」の手続きを行ってください。

※学生の方は学生納付特例制度をご利用ください。

保険料免除制度

●所得が少なく、本人・世帯主・配偶者の前年所得が一定額以下の場合、保険料の全額または一部が免除されます。

保険料納付猶予制度

●20歳～50歳未満の方で、本人・配偶者の前年所得が一定額以下の場合、保険料の納付を後払いにできる制度です。

■免除となる所得の目安（申請する年度の前年所得で審査されます。）

扶養人数	・全額免除 ・納付猶予	一部納付		
		1/4納付	半額納付	3/4納付
扶養なし	57万円	93万円	141万円	189万円
1人扶養（ご夫婦のみ）	92万円	142万円	195万円	247万円
3人扶養（ご夫婦、お子さん2人）	162万円	230万円	282万円	335万円

※「1人扶養」、「3人扶養」は、夫か妻のいずれかのみに所得のある世帯の場合です。「3人扶養」の子はいずれも16歳未満の場合の目安です。

※上記の所得の目安は、標準的なモデルをもとに計算しています。所得の種類や控除額などによって免除に該当しない場合もあります。

■免除となる申請期間《7月分から翌年6月分まで》

- ・前年所得を審査する必要性から、申請は毎年必要です。
- （継続審査希望のある方で、全額免除または納付猶予の承認を受けた方は、申請手続き不要です。）
- ※過去の期間については、申請日より、原則2年1か月前までさかのぼって申請できます。

■申請手続

- ▼受付期間 7月1日(水)から
- ▼申請窓口 市役所保険年金課・十四山支所
- ▼持ち物 年金手帳・印鑑
(失業などを理由とするとき)雇用保険被保険者離職票または雇用保険受給資格者証など

■保険料は追納できます

国民年金保険料の免除または納付猶予を受けた期間があると、保険料を全額納めたときに比べ、老齢基礎年金の年金額が少なくなります。

承認された期間の保険料は、10年以内であればさかのぼって納めること（追納）ができます。

ただし、納める保険料は3年度目以降、加算額が上乘せされます。

老齢基礎年金の減額を防ぐためにも、なるべく早めに追納するように心がけ、満額の年金に近づけましょう。

※一部免除を受けた期間に、残りの納付すべき保険料を納付していない場合は、追納できません。

追納は申し込みが必要ですので、詳しくは下記へご連絡ください。

☎中村年金事務所 国民年金課

☎(052)453-7200 自動音声案内「2」番を押した後、もう一度「2」番を押してください。



教育の広場



HIROSHIMA ～平和への誓い～

弥富北中学校 野間 結惺

【原爆ドーム】

原爆ドームは、核兵器廃絶と人類の平和を求める誓いのシンボルとして、平成8年12月に、世界遺産に登録された。原爆ドーム(当時の広島県産業奨励館)は、建設されてから今年で104年になる。被爆してから74年が経ち、地震等への対策や、4回にもわたる保存工事が行われている。104年にわたって、日本の歴史を見てきた重要な建造物の一つである。

【被爆された方のお話】

実際に被爆し、戦争・原爆による被害を見てきた方のお話がとても貴重なお話を聞くことができた。話をしてくださった大越和郎さんは、5歳のときに広島で被爆されたそうだ。原爆の悲惨さ、人々の苦しみを実際に体験し、それを僕たち次世代の若者へと伝えてくれた。大越さんの話の中でも、その当時の自分たちと同じくらいの子どもの話がとても印象に残った。

【感想】

この2日間、私は今まで見たこともなかったものをたくさん見た。なかには、目を背けたいようなものも少なくなかった。しかし、その現実と向き合い考えることが、これから先の人生にとってとても重要なことだと思う。広島は世界的に見ても、原爆による被害を受けたとても意味の強い場所であると思う。それは、広島には外国の方がとても多く来ていることから分かったことである。「核兵器の廃絶」、「人類の平和」、これはこれからの世界を引っ張っていくことになる私たちの役割、そして使命でもあると感じる。

「二度と戦争というあやまちを繰り返さない」、「戦争なんてものは本当はあってはならないもの」、そう分かっている、なかなかなくなる。そんな世界を変え、この地球上から戦争や争いによって苦しむ人をなくし、核兵器の悲惨さを訴えていくことを、私はここに誓う。



平和の願い ～後世に伝える～

弥富北中学校 松本 芽衣

【平和記念公園で】

平和記念資料館では、衝撃的な写真や絵があり、目を背けたいようなものもたくさんあった。その中には、被爆された方が当時身に付けていた服などが展示してあった。どれもボロボロで、私と同じ中学生の服でもとても小さかった。このことから、当時は食べるものもなかったことや、戦争中の様子などがよくわかった。それと同時に、戦争の恐ろしさを知ることができた。

【原爆の子の像について】

原爆の子の像には、一年間に約1000万羽の折り鶴が献呈されている。モデルとなった佐々木禎子さんは、2歳のときに被爆し、12歳のときに白血病を発症した。そして、闘病中にたくさんの折り鶴で干羽鶴をつくり、元気になれるようにと願っていた。しかし、願いはかなわず亡くなってしまった。

悲しんだ友達が何かできることはないかと考え、募金活動が進められた。その思いを後世へつなげていくため、この像を建てることになった。

【感想】

私は、この研修でたくさんのお話を学び、感じる事ができた。見学したり、しげるちゃん弁当を食べたりして、今自分がどれだけ幸せなのか気付かされた。原爆資料館では、どんなにつらい写真や絵を見ても、目を背けず、その現実に向き合うことができた。平和な世の中をつくらせていくためにも、今回学んだことを周りの人や後世に伝えていくことが大切だと思う。

私はこの2日間で、平和について深く考えることができ、自分自身が成長することができたと感じた。今後も今回の研修を生かして学びを深めていきたい。

